

日本コミュニケーション学会九州支部 第13回大会

大会テーマ：「癒し」社会とコミュニケーション

“Healing” Society & Communication

2006年9月16日（土）

福岡医療短期大学

〒814-0193 福岡市早良区田村 2-15-1

TEL092-801-0411（代表）

大会プログラム

受付 9:30～

開会式 10:00～10:30 307 教室

司会：與古光 宏（九州産業大学）

支部長あいさつ：高瀬文広（福岡医療短期大学）

開催校あいさつ：田中健蔵（福岡歯科学園理事長）

来賓あいさつ：近江 誠（CAJ会長；南山短期大学）

特別講演 10:30～11:30 307 教室

司会：高瀬文広（福岡医療短期大学）

講師：イネス多恵子

支部総会 11:30～12:00 307 教室

司会：清水孝子（日本文理大学）

学術局セッション 13:00～14:00 307 教室

柿田秀樹（独協大学）

研究発表

第1室 307 教室

14:00～14:30 玉城里奈（琉球大学人文社会科学研究科） パワーポイント

スウェアリング・プレイの相互構築—会話連鎖とその機構を中心に—

14:30～15:00 高瀬文広・秋竹純・齊田直樹（以上福岡医療短期大学） パワーポイント

歯科衛生専攻科における日本語コミュニケーションの育成指導

15:15～15:45 周 莉恵（九州大学大学院） パワーポイント

明治期の日本における西洋ディベート形式の受容

15:45～16:15 佐藤勇治（熊本学園大学）

Franklin D. Roosevelt のファイアサイドチャットについて

第2室 303 教室

14:00～14:30 宮下和子（鹿屋体育大学） スライド

メロディが奏でる異文化翻訳

14:30～15:00 棚原杉子（琉球大学人文社会科学研究科） スライド

韓国人と日本人の英語使用におけるステレオタイプ

15:15～15:45 八尋春海（西南女学院大学） ビデオ

社会的属性を意識した翻訳作業

15:45～16:15 仲程順一（琉球大学人文社会科学研究科）

借用された日本語と英語の強勢規則—松井はなぜマツイーか？—

閉会式 16:20～16:30 307 教室

司会：横溝彰彦（純心女子高等学校）

あいさつ：八尋春海（西南女学院大学）